

災害に備えて薪を備蓄

大津中学校に防災薪棚を設置

5月13日、大津中学校に防災薪棚が設置され、生徒会役員15人が薪の搬入を行いました。これは、森林ボランティア「おおづ森の守り人」が「緑の募金支援事業」などの助成を受けて、2012年から行っているもので、学校に設置するのは今回が初めてです。搬入後、棚には生徒が描いた看板が取り付けられました。



町内に山を所有する皆さんの好意で譲られた間伐材(スギやヒノキ)で作られた薪は、災害時の燃料として活用される予定です

全国で活躍する大津町の人々

全国大会出場

「第33回全国高等学校空手道選抜大会」が3月26日～28日に静岡県で開催され、大津町出身で九州学院高校空手道部に所属する川端竜平さん(杉水) (写真左端)、平山元気さん(新) (写真左から2番目)、鬼塚太朗さん(杉水) (写真中央)が男子団体組手に出場しました。大会ではベスト8(5位入賞)入りを果たしました。



試合開始前、コートに整列するメンバー

安全運転をお願い

交通安全タッチ運動

4月14日、交通安全タッチ運動が大津中学校正門前で行われました。これは4月6日～15日の「春の全国交通安全運動」にあわせて行われたもので、当日は大津幼稚園の園児約80人がドライバーにチラシやグッズを手渡ししながら、「安全運転をお願いします」と交通安全を呼びかけました。



ドライバーの皆さんは、子どもたちの呼びかけに笑顔で応えていました

大津中央公園で初開催

第14回スペシャル駅伝大会

「スペシャル駅伝大会」が4月12日、大津中央公園で開催されました。肥後大津ロータリークラブが主催する同大会も今回で14回目。障害者を支援している町内のつくしの里、三気の里、大津あゆみ園、若草児童学園、すまいるの利用者が参加して、リレーやパン食い競走を楽しみました。初開催となる大津中央公園で、利用者や参加者は元気に大会を満喫しました。



参加者の皆さんは、みんな笑顔で競技を楽しんでいました

Ola! ブラジルからこんにちは

ブラジル熊本県文化交流協会の一行が大津町を訪問

5月13日、ブラジル熊本県文化交流協会(旧県人会)の訪問団が大津町を表敬訪問しました。これは、昨年行われた同協会の創立55周年記念式典に、熊本から慶祝訪問団が駆けつけた答礼として県内各地を訪問したものです。一行は、町交流会館で表敬訪問と町民との交流会を行い、大津の新茶やからいも、銅銭糖を食べながら、町からブラジルの姉妹都市へ派遣された研修生や縁故者の皆さんとの話で盛り上がり、グラウンドゴルフなども体験しました。

現在、熊本県人の血を引く日系ブラジル人は13万人(推定)いるそうです。



町民の皆さんと一緒に



グラウンドゴルフを体験

大津の名産品を食べながら話が弾みました

ブラジル熊本県文化交流協会から贈られた「記念品」

被災地の皆さんをおもてなし

東日本大震災支援交流会

4月8日、東日本大震災支援交流会が大津つつじ園で行われました。当日は東日本大震災の被災地である岩手県山田町の訪問団が大津町を訪れ、手作りの昼食によるおもてなしや震災直後から現在の状況などについての意見交換などを通して、南杉水人権のまちづくり協議会の皆さんと交流を深めました。



今回の交流会を通して、改めて交流支援の大切さを感じました

護川小学校に梅の造花を

梅の造花贈呈

5月7日、肥後大津民芸造花保存会が護川小学校に「梅の造花」を寄贈しました。

「梅の造花」は町指定文化財に指定されている大津の伝統工芸で、江戸時代の参勤交代では土産物として重宝されていました。今回寄贈された梅の造花は同校出身の大村玲子さんが制作したものです。



左から、護川小学校の西田祐二校長、肥後大津民芸造花保存会の大村玲子さん、新開ツキ子さん、富士川マサヨさん